



地球温暖化ってなあに?

増え続ける二酸化炭素
二酸化炭素は、1970年から2004年の間に地球全体で80パーセントも増えたんだ。それに平均気温も、過去100年(1906年〜2005年)で0.74度も上がっているんだよ。

原因は?
わたしたち人間の生活は、この100年でとっても便利になったんだ。工場では、生活に使う便利なものをたくさん作っているよね。夜になっても電気があから明るい部屋の中で暮らすこともできるし、自動車に乗れば、遠い場所にもすくに行けることができる。こうした生活を支えているのが、石炭や石油などの化石燃料なんだ。電気やプラスチックなどを作ったり、乗り物などを動かしたりするのに大量の化石燃料を燃やす

わたしたち人間の生活は、この100年でとっても便利になったんだ。工場では、生活に使う便利なものをたくさん作っているよね。夜になっても電気があから明るい部屋の中で暮らすこともできるし、自動車に乗れば、遠い場所にもすくに行けることができる。こうした生活を支えているのが、石炭や石油などの化石燃料なんだ。電気やプラスチックなどを作ったり、乗り物などを動かしたりするのに大量の化石燃料を燃やす

みんなは、「温室効果ガス」という言葉を聞いたことがあるかな？ わたしたちの住む地球の周りは、水蒸気や様々なガスでできている大気という層で包まれているんだ。そして太陽から地球に差し込む日光は、絶えず地球を暖めているんだよ。その暖められた熱が宇宙に逃げ出さないように防いでいるのが、大気中に含まれる温室効果ガスなんだ。この温室効果ガスの主な成分は、わたしたちが生活の中で出す二酸化炭素なんだよ。地球の熱が、宇宙に逃げ出さないように防いでいる温室効果ガスは、地球を覆う毛布みたいなものかな。この毛布があるおかげで地球は、わたしたち人間やそのほかの動物、植物が暮らしていける気温に保たれているんだよ。もしこの毛布がなくなったら、地球の平均気温は、なんとマイナス18度まで下がるといわれているんだ。そのときに大量の二酸化炭素が作られるんだよ。

このまま二酸化炭素が増え続けると?

このまま二酸化炭素が増え続けると、地球の気温が上がって、さらに地球温暖化が進むと考えられているんだ。このまま地球温暖化が進むと、次のようないろいろな影響が心配されているんだよ。



- 南極や氷河の氷が溶けて海の水位が上がる。太平洋の島の中には、沈んでしまふ島も出てくる
- 海水の温度が上がって、今までとれていた魚がとれなくなる
- 大雨やかんばつなどの異常気象が増える
- 穀物がとれなくなって、食糧不足が起る
- 熱帯地方だけにあった病気が世界中に広がる

るんだ。これではとても人間も動物も生きてはいけないよね。では、逆にこの毛布がもっと増えたらどうなるかな？ ちょっと考えてみてよ。もし、みんなが真冬でもないのに、毛布を3枚も4枚もかけて寝たとしたら…。きつと暑くてとてもじゃないけど寝られないよね。実は、このようなことが今、地球では起こっているんだよ。人間が生活の中で出す二酸化炭素が急激に増えて、地球を覆っているんだ。そのため、熱を宇宙へ逃がさない力が強くなって、地球全体の気温が上がっているんだよ。これが地球温暖化といわれる現象なんだ。



地球温暖化を食い止めるために

平塚での取り組み

今、わたしたちが暮らす地球では大変なことが起こっているんだよ。でも、人間の手で起こってしまったことは、人間の手で直すこともできるはず。今、世界中で地球温暖化を食い止めようといういろいろな活動が行われているんだ。

わたしたちが暮らす平塚のまちでも、地球温暖化防止に向けてこの夏「ひらつかクールダウンウィーク」と名付けて様々な催しが開かれたんだ。今回の子ども広報では、このクールダウンウィークのイベントを中心に公募で選ばれた市内の小学生が取材してきたよ。地球環境を守るために自分たちができること、みんなに伝えたいことを考えたんだ。わたしたちの住む地球の環境を守るために一緒に頑張って何ができるかを考えてみよう。

